

船橋・ハイワード姉妹都市委員会創設委員長レイ・ツルモト様 追悼式を開催



記念樹と記念碑の前で参列者の記念撮影

昨年1月12日に亡くなられたレイ・ツルモト様の追悼式が1周年の今年1月12日にふなばしアンデルセン公園で開催されました。

レイ・ツルモト様は、昭和61年（1986年）11月7日に締結された船橋市とハイワード市との姉妹都市提携の礎を築いた最大の貢献者と言える方です。

ハイワード市では民間の「船橋・ハイワード姉妹都市委員会」が創設され、初代委員長に就任し、妻のセツコ様とともに姉妹都市締結に尽力されました。以降、委員長職を11期務められ、その間、船橋市からハイワード市への訪問者は官民合わせて述べ数千人となり、その訪問者のほとんどがツルモトご夫妻から家族のように歓待を受けました。市からの代表団の受け入れや、カリフォルニア州立大学イーストベイ校への総勢53名の留学生のサポートの他、市の外国語指導助手（ALT）の選考など、両市の交流に献身的に尽くされました。

故人を知る協会員から、是非感謝の気持ちを形にして残したいという声上がり、共に貢献され、先立たれた妻のセツコ様の記念樹のそばに銘板を記念碑として残すことになりました。追悼式当日は、三男のダン・ツルモト様と妻

のステファニー様、現姉妹都市委員長の原谷美紀様も現地より駆けつけていただいた他、多くの方々も参列されました。ふなばしアンデルセン公園のコミュニティーセンターを会場に黙祷、国際交流協会の嘉規洋会長、他ご来賓の皆様が感謝と哀悼の意を表するとともに、今後も友好関係を引き継いでいきたいと結ばれました。ご遺族を代表してダン・ツルモト様がお父様の情熱的な活動や、留学生と小さい旅行を楽しんだ思い出を語られました。その後、銘板のある記念樹まで移動し、除幕式、記念撮影が行われました。コミュニティーセンターに戻り、スライドを見ながら昔を懐かしみ、思い出を語りました。元会長の金子三智子様は、妻のセツコ様との楽しいエピソードをお話になり、心温まるエピソードに成長した留学経験者他、多くの参列者からの感謝の言葉からレイ・ツルモト様の温かい人柄が偲ばれる会でした。



記念の銘板の除幕式



記念の銘板

コロンビア料理教室開催



参加者の様子



エンパナーダとピカリージョ
(トマトと野菜の特製ソース)



チミチュリ
(アボガドとパセリとパクチーのソース)

2月9日に、浜町公民館の実習室にて、交流・相互理解部会が椎名部会長になってから、初めての料理教室が開かれました。コロナ禍もあり、協会主催の料理教室は久しぶりの開催でした。「料理は言葉の壁を超えて人々をつなぐ素晴らしい手段です。これから一緒に調理し、試食する中で、コロンビアの食文化や魅力的な文化についても触れていただければ幸いです。また、料理を通じて新しい発見や仲間とのつながりが生まれることを願っています。仲良く分担して料理してください。」と椎名部会長から挨拶がありました。

講師にルセロさんとカルロスさんご夫妻を招いてコロンビア料理のエンパナーダと2種類のソースを中心に作りました。ルセロ・バルガスさんは、1977年に来日。日本ではじめての外国人の女性タクシードライバー、柏レイソルの通訳、柏市での通訳アドバイザーや国際交流メンバー、柏市や浦安市などでコロンビア料理教室の講師として活躍されてきました。協会とのご縁は、昨年11月の国際ナショナルフェスティバルで、コロンビア料理の模擬店で伝統料理のタマレ、

エンパナーダを作っていただいたことです。その美味しさに感動し、協会からお願いをして、エンパナーダを教えてくださいることになりました。

参加者19名は、4つの調理台に分かれて賑やかに作業分担をしながら進めました。ご夫婦や親子での参加もあり、ほのほのとした雰囲気でも話も弾んでいたようです。中にはポルトガル語で質問をする方もいました。ルセロさんとカルロスさんが各グループを回ってコツを教えてくださいました。試食時には、皆それぞれ自分の作ったエンパナーダに舌鼓を打っていました。最後に、ルセロさんとカルロスさんお手製のグアナバナのシャーベット、ライスプディング、煮出しコロンビアコーヒーが振舞われました。

アンケートでは、「とても美味しかった」「また家で作ってみたい」「講師がテーブルを回ってくれて楽しかった」「コロンビアの話が聞けて良かった」などの回答がありました。

スタッフたちも、また料理教室をしましょうと約束して解散しました。



ルセロさんのお手本を見つめる参加者



50個目指してみんなでがんばる



力を合わせて真剣な表情



試食タイムで美味しい表情のグループ

「やさしい日本語」講座開催



土井講師のお話を熱心に聴く参加者の皆さん

1月19日午後2時から、船橋市役所11階大会議室で、多文化共生リソースセンター東海代表理事、土井佳彦氏を講師にお迎えして、「これだけは知っておきたい やさしい日本語のポイント」の勉強会が参加者28名で開催されました。

「やさしい日本語」は、外国人とコミュニケーションを取るための手段のひとつです。外国人には理解が難しい「召し上がる」を簡単な「食べる」に置き替えるなど、外国人にも分かり易い、易しい（優しい）日本語を使用し、意思疎通を図ろうというものです。

土井講師から、船橋市を中心に在住外国人の現況が

説明され、全国のサンプル調査では、英語より日本語ができる人の割合が高かった（国立国語研究所）との興味深いデータも紹介されました。

続いて「やさしい日本語」にするためのルールが説明され、「一文を短く、文の構造を簡単に」、「擬態語、擬音語を使わない」、「漢字にはルビ（ふりがな）を振る」などのコツも示されました。平成23年の東日本大震災では、「避難」という日本語の意味が分からず、被災した外国人や、「炊き出し」という日本語の意味を理解した後、支援する側に回ってくれた外国人の事例なども紹介されました。

後半は同じテーブルの2人が一組になり、実践タイム。広報ふなばしの防犯や図書館などのお知らせを材料に、1人を外国人に見立て、他の1人が「やさしい日本語」で説明してみる練習をしました。参加した皆さんも、「やさしい日本語」にする難しさをあらためて実感しているようでした。

最後に、出入国在留管理庁や船橋市役所が提供する外国人支援のガイドブックやマニュアルなどの紹介があった後、土井講師から、「易しい言葉、優しい気持ち、お互い様の姿勢」が大切とのまとめの言葉をいただき、2時間の研修が終了しました。

外国人のための防災講座開催



防災グッズの説明を真剣に聞く参加者

1月26日午前10時から、船橋市役所11階大会議室で、外国人向けの防災講座「災害にそなえる」が開催されました。中国やベトナムの方など16名が参加しました。

講師の片桐 卓氏（国際交流協会事務局長）から、日本は地震や津波、台風や水害など、災害が非常に多い国であり、それに対する日頃の備えがとても大切なことが説明されました。

地震発生時の「Shake Out」（身を守る）訓練、簡易トイレを使う時の凝固剤の実演などと共に、自宅内

の家具を固定する方法、津波避難場所の看板の見方、災害時情報提供アプリ、避難所での生活などについて、「やさしい日本語」で構成されたテキストで講義が進められました。

その後、市役所裏手の駐車場に移動。

市危機管理課職員から説明を受けた後、待機していた市の起震車に乗って、東日本大震災で発生した震度7の強い揺れなどを体験しました。参加者は、大きな揺れにびっくりした様子でした。

続いて、災害時の火災で発生する煙を体験。用意された煙中テントの中には、無害の煙が充満しており、その煙の中を姿勢を低くして通り抜ける体験をしました。参加者からは、「前が全然見えない」といった声があがっていました。



起震車の体験



煙の中を進む体験

日本語学習支援ボランティア養成講座開催

現在協会では、約65名のボランティアが日本語教室で活動しています。新しい仲間を増やすために2年ぶりに、日本語学習支援ボランティア養成講座を開催しました。講師に有田玲子先生を招き、1月から3月までの木曜日、全9回の講座です。講座では、外国人に話しかけるやさしい日本語とはどういうことか、外国人本人が日常使う場面での会話の選び方、簡単な日本語の特徴、外国語としての日本語文法を学びました。参加者26名は、講座修了後7箇所の対面日本語教

室と2つのオンライン教室と子ども日本語教室で令和7年度より活動を始めます。現在船橋市には、23,000人以上の外国人が100カ国以上の国から来ています。すべての言語で話しかけるのは不可能です。日本語を少し勉強した外国人とやさしい日本語で話せるようになることが目標です。

この協会の養成講座だけでなく、他市や民間で養成講座を受けたことのある方のボランティアはいつでも歓迎です。外国の方に日本語を教えてくださいませんか。



講座の風景



先生のアドバイスをいただきながら問題を考える受講生

お知らせ

◎令和7年度総会を開催します。

日時：令和7年5月15日（木）14：00 - 16：00
場所：船橋商工会議所（船橋市本町1-10-10）
総会資料は5月初旬に郵送する予定です。

◎令和7年度 会費納入のお願い

船橋市国際交流協会の活動は、会員の皆様の会費で支えられています。
令和7年4月から令和8年3月までの会費を、令和7年4月25日までに納入をお願いいたします。

年会費	団体	1口10,000円
	個人 一般	1口2,000円
	個人 学生	1口1,000円

※2口以上納入される場合は、お手数ですが通信欄へ口数のご記入をお願いいたします。

振込先 ゆうちょ銀行 口座番号 00170-7-57755
加入者名 船橋市国際交流協会
千葉銀行 船橋市役所出張所 口座番号 普通 3018415
口座名義人 船橋市国際交流協会
会長 嘉規 洋